



新年第1号のみらい通信では管理運営委員会各部からのお知らせに加え、コロナ禍での学校運営を振り返る前運営委員長の寄稿、漢字を学ぶ講演会の報告などを掲載しています。ぜひ最後までご覧ください。

＜目次＞ [青い封筒募金キャンペーン・ラッフル](#)/[全校アンケート実施](#)/[次期運営委員の募集](#)/[次期学年代表の募集](#)
[コーディネーターの募集](#)/[新春祭りに「箏クラブ」が参加](#)/[役割分担希望調査を実施](#)/[サイエンスサロンの開催](#)
[コロナ禍を通じて見たワシントン日本語学校](#)/[「漢字を学ぶ」講演会実施報告](#)/[委員長からの報告](#)

ありがとうございました

景品	抽選方法
- ポトマック川でのランチクルーズ（1 家族分を 1 枚） - 寿司 TARO のおせちギフト券（1 枚） - 寿司 TARO の飲食ギフト券（100 ドルを 2 枚）	20 ドルを 1 チケットとし、寄付金額に応じてチケットを割当て（例：100 ドル寄付した方はチケット 5 枚）
- 鈴木ファームお野菜セット（2 枚） - 図書古本 5 冊（8 枚） - WJLS ロゴ T シャツ（10 枚） - WJLS ロゴマグカップ（3 枚） - WJLS トートバッグ（5 枚） - WJLS ハートのカーマグネット（5 枚）	寄付金額にかかわらず一人につきチケット 1 枚 

アンケート

1月17日（火）より1月29日（日）まで、全校アンケートを実施いたします。アンケート結果は学校運営などに反映させていきたいと考えておりますので、ぜひご協力いただけますようお願いいたします。より多くの保護者や生徒の皆様からのご回答をお待ちしております。

次期管理運営委員を募集中！

募集中!

現管理運営委員の退任に伴い、2023 年 4 月から教育人事部員として以下の業務を担当して下さる保護者の方を募集いたします。

<教育人事部> 新規教員採用面接、全校アンケートによる保護者や教職員からの意見収集、家庭学習勉強会の企画、新入学・新入園生徒の面接など。学校の組織図・管理運営委員会の役割に関しては、本校ウェブサイト (https://www.wjls.org/aboutus/message_from_committee/) をご参照ください。少しでも興味がございましたら詳細についてご説明をさせていただきますので、管理運営委員会 (uneiiinkai@wjls.org) までお気軽にご連絡ください。積極的なご参加をお待ちしております。

おまちしています

次期学年代表を募集中！（学年代表）

来春の任期満了に伴い、学年代表を募集しています。管理運営委員の役職の 1 つである学年代表は、学校運営と保護者をつなぐ架け橋です。3 名で構成されていて、担当する学年層をカバーしながら、仕事は分担・協力しあって務めることができます。在任中と退任後 2 年間は、保護者役割当番や学級代表・コーディネーターなどの選出から免除されます。詳細は「[役割免除の一覧表](#)」でご確認ください。ご応募お待ちしております！

■中学年代表（担当 小 3・小 4・小 5） 1 名 →現小 2～小 4 の保護者から選出

■高学年代表（担当 小 6・中学・高校） 1 名 →現小 5～高 1 の保護者から選出

【主な仕事内容】

- ・学級代表のサポート
- ・運営委員会へ出席
- ・役割分担調査の実施

よろしくお願いします



任期：1 年間（2023 年 4 月～2024 年 4 月）

締切：1 月 27 日（金） ※立候補なしの場合は対象学年から抽選で選出

応募：氏名と在籍学年を明記の上、学年代表 (gakunendaihyo@wjls.org) へ

2023 年度コーディネーター募集中！（学年代表）

保護者役割の 1 つであるコーディネーターを募集しています。各当番の調整や管理が主な仕事で、在宅でできるポジション、土曜日に当番として出ることはありません。またいくつかの役割を免除になります。本校ウェブサイト保護者ページの「[役割免除の一覧表](#)」を参照し、ご検討ください。皆さんからの応募をお待ちしています！

■役割分担コーディネーター 1 名

- ・各役割当番コーディネーターとの連絡
- ・年度始めと途中入学家庭の役割分担調整

任期：1 年間（2023 年 4 月～2024 年 4 月）※最長 3 年の更新可能

締切：1 月 27 日（金） ※立候補なしの場合は抽選で選出

応募：氏名と在籍学年を明記の上、学年代表 (gakunendaihyo@wjls.org) へ



【お知らせ】ワシントン新春祭りに「箏クラブ」が参加します

1月7日付「はなみずき」で紹介されていたワシントン新春祭りに、本校の放課後クラブ「箏クラブ」が出演します。出演時間は午前中の予定です。入場券のお求めが必要ですが、ワシントン新春祭りは日本のお正月を楽しむことができるイベントです。ぜひお誘いあわせの上お越しください。

日時：1月29日（日） 午前11時～午後3時

場所：Washington Marriott at Metro Center Hotel 地下イベント会場
(775 12th Street NW, Washington, DC 20005)

詳細は本校ウェブサイト「チラシ掲示板」をご確認ください。



全家庭対象！2023年度役割分担希望調査を実施（学年代表）



来年度(2023年4月～)の保護者の役割分担を調整するため、希望を調査するアンケートを2月上旬に実施します。どのような役割があるのか、それぞれの活動内容や募集人数については、本校ウェブサイトの保護者ページ [「保護者の役割」](#)に掲載しています。来年度の体制が決まり次第、随時情報を更新しますのでご確認ください。*退学予定や免除対象の家庭も回答が必要です。

- ・アンケートはすべての家庭が回答必須（無回答の場合は希望に沿えないことがあります）
- ・アンケートの回答期間は約1週間（一斉メールやWJLSからのメールをお見逃しなく）

【放課後活動】新企画！「サイエンスサロン」に参加してみませんか？（総務部）

放課後活動の一貫として、サイエンスに関わる講義、講演、展示、ワークショップなどを行う「サイエンスサロン」を始めます。講師は保護者を中心に、ときに外部からの講師も招きながら、様々なトピックを取り扱っていきます。トピックによって対象学年も変わります。第一回は以下の内容での開催を予定しています。

第一回（予告）：「生き物に学ぶ発明」

講師：瀬尾 学

内容：昔から人類は色々なことを自然や生き物から学んできました。ライト兄弟は鳥の飛び方の研究をして、はじめての有人飛行を成功させました。生き物がもつ優れた機能を模倣する「生体模倣（バイオミメティクス）」は、新しい発明のヒントを得る上でとても重要で、最近では特に環境問題解決のいとぐちとしても注目されています。第一回のサイエンスサロンでは、生体模倣技術を通じて水、光、音などの性質を学びつつ、楽しく理科の応用に触れ合っていく予定です。

日時：2月に2回開催予定、放課後45分（午後3時45分～4時30分）

募集：中高生、20名程度

詳細は一斉メールにて配信予定です。サイエンスに興味がある方はぜひご参加ください！今後も超電導、最新のがん治療、宇宙研究などの話題を提供していく予定です。他にも在校生にサイエンスに関わる講義・講演を行っても良いという保護者の方がいらっしゃいましたら、ぜひ総務部 (somu@wjls.org) までご連絡ください。



管理運営委員会は 2022 年 10 月の年次総会をもって委員長が交代しました。渡辺政志前委員長はコロナ禍以前の学校運営から学校閉鎖、オンライン授業の立ち上げ、2 部制対面授業への移行、そして終日での対面授業の再開に至るまで、様々な運営形態に携わってきた稀有な存在です。委員長退任を機に、コロナ禍に見舞われた直後や目まぐるしく状況が変化する中での決断を振り返っていただくとともに、今後の学校の課題や保護者の皆様への期待を寄稿していただきました。

コロナ禍を通じて見たワシントン日本語学校 渡辺政志前管理運営委員長

2020 年 3 月 13 日金曜日。翌日に幼稚部の卒園式を控えていた。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は年明けからアメリカでも始まり、メリーランド州にもその波が押し寄せていた。モンゴメリーカウンティ公立校が 4 月いっぱいの休校を発表したとの知らせは、そうした状況下で飛び込んできた。本校は翌日からの臨時休校を決定。卒園式、そして翌週の卒業式は関係者の願いが叶わず中止となった。私が管理運営委員会総務部に IT 担当として参加してから 1 年ほどが過ぎた時のことだった。



3 月 28 日、全員が自宅待機となり暗中模索の中、不慣れなオンラインミーティングで臨時運営委員会を開催し、今後の運営方針が話し合われた。まずは、校舎を借用し土曜日のみの授業形態である本校に今後どのような選択肢があるのか、それらを絞り込む作業から始まった。長期閉校、通信教育、オンライン授業などの可能性を検討したが、最優先事項は日本語教育の継続であった。ただ、この時点では提供可能な授業の質が未知であることやそれに対する授業料負担を考慮した際にどの程度需要があるのか、学校経営の観点から運営内でもオンライン授業の実現に懐疑的な意見が少なくなかった。

しかし、遠隔授業に対する保護者アンケートや教職員の意見聴取での支持もあり、また今後のコロナ禍長期化も考慮したうえで、教員・生徒による双方向のオンライン教育環境の構築を目指し、4 月 11 日の委員会でオンライン授業実施が決定された。翌週 18 日に保護者説明会の開催、翌々週 25 日に学級開きが予定され、準備は時間との闘いだったと言っても過言ではない。当時、オンラインミーティングは学校の授業形態として一般的ではなく、本校でもゼロからの準備となった。幾つかの選択肢から最善と考えられた Zoom を採用し、2 週間昼夜を通して準備した。四宮事務局員と協力しながら Zoom アカウントの設定、保護者・教職員マニュアルの作成、教職員講習会の実施、



保護者 IT サポートチーム体制の確立といった作業を進めていき、授業日初日に備えた。皆が手探りの中、当初幾つかの混乱はあったが、回を重ねるごとに不安は自信、そして確信へと変わっていき、オンライン授業が「新しい日常」となっていった。方針決定からわずか 2 週間の準備期間でオンライン授業を導入できた背景には、学校関係者の努力はもちろんのこと、2015 年に本校が聖心 SR 校に移転して以来、普段から教職員がパソコン・デジタル教科書を使用した授業を行うなど IT 環境に慣れていたことが大きな要因であったことは間違いない。

コロナ禍の約 2 年間はオンラインで運営委員会を実施
運営方針を数時間にわたって議論したことも

翌年 2021 年 4 月。学校閉鎖から 1 年が過ぎ、社会情勢は脱コロナを目指し始めていたが、本校はオンライン授業継続で新年度を迎えていた。私は管理運営委員長に就任し、コロナ禍での学校運営の舵取りを行っていた。私がこの時期に委員長を引き受けた一つの理由としては、本業である免疫学研究者としてのバックグラウンドが、今後本校がオンラインから対面授業体制へ移行する際に必要と思われる科学的根拠に基づく状況判断や意思決定プロセスに貢献できるのではないかとの思いもあった。この時点の学校運営目標は夏休み後の対面授業再開であり、運営としてもその日に向け保護者役割の再編成など準備を始めていた。ワクチン接種が進み、社会状況が変化していく中、ハイブリッド授業で先行していた周辺現地校が新年度 9 月よりコロナ前の基準で対面授業を再開するとの発表を行う。これを受け、運営内で慎重に議論、準備を続けてきた夏休み明けの対面授業再開計画を最終決定し、6 月に発表した。感染状況がこのまま悪化しないことを祈りつつ。



在任中は総会もオンライン・
ハイブリッド・対面の 3 形態を経験

2021 年 9 月 4 日。学校閉鎖から 540 日後、SR 校にワシントン日本語学校が戻ってきた。感染防止対策のため午前・午後 2 部制の対面授業というこれも未知の学校運営形態であったが、緊張感の中にも校舎に皆の笑顔や笑い声が溢れたこの日のことは今でも印象深く心に残っている。10 月に制限付きながら運動会を開催した一方で、新たな



大運動会ではこれまでの活動に対する
大きな達成感を味わえた

決断をしなければならない期限が迫っていた。本校では入学・進学手続きや、種々契約の関係上、次年度の学校体制を 12 月までに決めなければならない。保護者、教職員からの様々な意見・要望も考量しながら、感染状況・社会状況推移の予測・見極めを行い、翌年度 4 月から終日対面授業の再開を委員会で決定した。その後 3 月には卒園・卒業式の対面実施と着実に一歩ずつ進み、本年度 2022 年 4 月、ついに学校関係者が待ち望んでいた終日 1 部制での対面授業の再開に至った。この日を迎えるまでの学校関係者の前向きな姿勢、多大な努力には運営委員長としても何度も助けられた。改めて感謝申し上げたい。

今、私たちは本校 64 年の歴史の中でも経験したことのない危機を乗り越えつつある。この 3 年弱を振り返り思うことは「当たり前」が「当たり前」で無くなった社会状況の中、保護者を含め学校関係者全員が危機感を持ち、子供たちの日本語教育を守るために最善を尽くしたということだ。その非日常の中で「学校・家庭が共に子供たちの日本語教育を担う」という本校の基本理念がより深まった期間であったとも感じている。一つの危機を乗り越えつつある一方で、コロナ前より本校で顕在化していた国語力格差は今後の本校の「在り方」に大きく影響を与え得る、解消すべき問題であることも忘れてはならない。週 1 日だけの補習校において、保護者が主体となった家庭での日本語学習の実施と継続こそが、国語力格差の解消、そして本校の未来を決定する鍵となるだろう。保護者が運営の主体である本校において、子供たちの日本語教育のために何ができるのか、何をすべきなのか、今だからこそ私たち一人一人が真剣に考えなければならないのではないだろうか。



辻川扶紀新委員長に
ポストコロナの学校運営を託す



米国ヤマト運輸

日本へご帰国？ クロネコヤマトの選べる3つの引越プラン



ご家族でお引越は任せてらくらく！

荷造りから荷解きまで
全て任せてらくらく、
ママもご機嫌！

これで皆で
遊びに行けるよ♪

不要家財引取りや
簡易お掃除など
豊富なオプション
サービスも助かるわ～



引越 らくらく 海外パック

資材のご提供、荷造り、輸送まで全て含まれているサービスです。
お客様とお打ち合わせの上、原則取り決めたお時間帯で作業致します。
お引越の際には日本語が話せるスタッフがお伺い致します。
急なご要望にも日本語で対応いたします。
お引越後のお掃除、譲渡家具の配送も承ります。
トラッキングでお荷物の輸送状況を確認できます。
日本以外の世界中へのお引越についてもご相談ください。

お荷物の少ない方や、留学後の帰国に最適！

学生、個人、お荷物の少ない方に最適！
自分で梱包の格安引越プラン

- ◎箱やテープなどの梱包資材は弊社にてご用意致します。
- ◎荷造り・書類作成・日本での荷解きをご自身でお願いします。
- ◎手配の打ち合わせは日本語でサポート致します。
- ◎お荷物量に応じて4コースからお選び頂けます。
箱の組み合わせは自由です！
- ◎所要日数はお荷物引取り後、「単身プランSea」は、50～60日程。
「単身プランAir」は、7～10日程。
- ※どちらのプランもお客様が日本に到着後の配達となります。



単身プランSea



すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



単身プランAir



必要なものを
最短の所要日数でお届け



米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店
113 Executive Dr. Suite 118, Sterling, VA 20166
Email : wasoperat@yamatoamerica.com
TEL : (703)-435-4377



日本語でお気軽に！



各サービスの詳細はウェブサイトでご覧いただけます。

www.yamatoamerica.com

ジョージタウン大学の森美子先生による「漢字を学ぶ」講演会実施報告

12月17日に実施した「漢字を学ぶ」講演会には、50名以上の保護者が参加してください、漢字学習への関心の高さがうかがえました。講演後のアンケートでは、印象に残ったこととして「アメリカで英語に触れる機会の方が多く子供には、別のアプローチも必要だった」「漢字の意味を学ぶことが大切」「漢字、熟語の成り立ちを知る重要性」「漢字そのものが言葉（意味）であること」「漢字学習にはいろいろな方法があること」「バイリンガル教育を取り入れることも必要」「読みが大切（多読）」などのご意見をいただきました。



なお、講演のビデオは本校ウェブサイト[保護者ページ](#)の「家庭学習を応援! (要パスワード)」に掲載しますので、ぜひ今まで意識していなかった「漢字」を発見して、お子さんの漢字学習に活かしてください。次ページに森先生の著書をご紹介します。興味のある方はぜひ読んでみてください。講演会に参加した保護者のお一人に、参考になったことや率直な感想をうかがいました。

講演会に参加して

小学4年生保護者

今回の漢字学習についての講演は、アメリカで日本語教育を行っている親として、また漢字に苦戦している子を持つ親として大変参考になりました。大学で外国語として日本語を教えていらっしゃる森先生から、言語・文字としての日本語、漢字の特徴や役割、漢字の効果的な学習方法など、幅広く学ばせていただきました。



特に気になっていた漢字の学習方法や漢字力の向上については、まず漢字をポジティブに捉え、学習方法を教えるのが効果的とのことでした。学年が上がるにつれどんどん難しくなる漢字に苦手意識が強くなっている4年生の息子は、宿題の音読や漢字ドリル、漢字テストの勉強など、課題として何とか漢字学習をしている状態です。本人に漢字についてどう思うかと聞くと、やはり難しく覚えるのが大変といったネガティブな言葉が出てきました。そこで共有していただいた講演資料をもとに、日本語のユニークな点や漢字は便利で優れた伝達ツールであることなどを説明すると、興味を持ってくれました。

また漢字学習の具体的な方法として、まず漢字を分解し音や意味から漢字を覚える「語構造分析」を用いて一緒にクイズを作ったところ、部首の意味や音から想像して文字を考えたり、他の漢字から連想してみたりと、楽しく漢字に触れることができました。私が子供の頃には、漢字練習帳に何度も繰り返し書いて覚えていましたが、アメリカの地で現地校に通いながら日本語を学んでいることを踏まえ、学習時間を有効に使うためにも今回学んだ語構造分析や連想法など効果的な学習法を取り入れつつ、今後の漢字学習に活かしていきたいと思います。

森先生のお子さんも日本語学校に通われていたということで、保護者の先輩としてのお話をお聞きし、また卒業後も日本語学校のお友達と日本語を通じて（時には英語も織り交ぜながら）交流が続いているお話もうかがうことができたので、心強く励みになりました。今後もこのような日本語学習の参考となる講演を企画していただけると嬉しいです。



* 「漢字っこ!」のリンク
<https://sites.google.com/view/kanjikko/home?pli=1>

【森先生の著書】

『読んで考える日本語 10 のトピック中上級』（くろしお出版 2022）、
『親と子をつなぐ継承語教育--日本・外国にルーツを持つ持つ子ども--』（共著、くろしお出版 2019）、
『アメリカで育つ日本の子どもたち--バイリンガルの光と影--』（共著、明石書店 2008）
『言語教育の新展開--牧野成一教授古希記念論集--』（共著、ひつじ書房 2005）
『第二言語習得研究への招待』（共著、くろしお出版 2003）など

委員長からの報告



明けましておめでとうございます。冬休みはいかがお過ごしだったでしょうか？私は日本政府の入国制限緩和を受けて、3年ぶりに2週間ほど一時帰国をしてきました。家族や親戚、友人と久しぶりに会えて、おいしい食事に小旅行と大変充実した日々でした。その一方で、街の中の懐かしいお店がなくなっていたり、どこへ行っても屋内外を問わずマスクをしているのが日本の普通だったり、ポストコロナを実感した旅でもありました。

さて、1月7日の運営委員会では、校長先生より「進路希望調査の集計結果」の報告があり、この結果をもとに来年度に向けて具体的な教室数や予算案などを確定していく作業に入ります。また、昨年12月17日付一斉メール「悪天候時の授業対応について」でお知らせいたしましたが、早速「オンライン授業検討小委員会」の設立が運営委員会で承認されました。この小委員会は、来年度以降の対応について関係各部署と話し合いを進めていくために設立され、構成メンバーは、校長、教頭、教員5名、事務局2名、運営委員9名の計18名です。3月25日までを目標に、悪天候時などにオンライン授業を実施するにあたって、解決すべき課題や想定される問題点を様々な立場から議論し、来年度の実施の可否など話し合いの結果を4月の特別総会でご説明する予定です。

最後に、2023年が皆様にとってより良い年になりますように。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

アマゾン・スマイルをご利用ください

[アマゾン・スマイル](#)をご利用いただくと、アマゾンでお買い物をするたびに、購入金額の0.5%が自動的にアマゾン社から当校へ寄付されます。保護者の皆様にはご負担がない形で寄付ができる仕組みです。オンラインショッピングの際にはぜひアマゾン・スマイルをご利用ください。



委員長： 辻川扶紀
副委員長： 小寺友美
総務部： 成田伸一郎（部長）・大杉真名美・瀬尾学・竹村聡子・松林拓磨
財務部： グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
教育人事部： 大島由美子（部長）・塩崎桃子・善治聡人・平井真人・マッキソック美穂
広報部： 河野真弓（部長）・竹内由美
学年代表： 松山徳子（低学年代表）・杉本純子（中学年代表）・田島美恵子（高学年代表）